



Noism²

Noism 2

定期公演 vol.17

2026年3月6日(金) 19:00

3月7日(土) 14:00

18:00

3月8日(日) 14:00

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオB〉

確かな軌跡が導く未知への跳躍

Noism2 は、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する Noism Company Niigata の研修生カンパニー。今回の Noism2 定期公演は、「振付家育成プロジェクト」として、Noism 1 メンバーである中尾洸太と坪田光、樋浦瞳による三つのデュエット作品をお届けします。

振付家たちは、芸術総監督および国際・地域両部門の芸術監督のアドバイスを受けながら創作を進め、彫琢を重ねていきます。シンプルな舞台上、「二人」の世界が「三つ」の異なる視点から展開される本公演。題して「Three Duets in the Black Box」。オープニング及び全体の構成は地域活動部門芸術監督・山田勇気が手がけます。一期一会、二人三脚、三者三様——三つのデュエットが織りなす次世代の萌芽に、どうぞご期待ください。

お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

舞踊企画課 坂内佳子

Noism 制作担当 上杉晴香 広報担当 深作理那 高橋和花

info-noism@ryutopia.or.jp



〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-5627 (10:00-18:00 / 休館日除く) Fax: 025-224-5626

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp



Noism



@NoismPR



noism_official

「Noism2 定期公演 vol.17 × 振付家育成プロジェクト」

Noism では近年、劇場専属舞踊団として次世代の振付家を輩出することを目標に「振付家育成プロジェクト」に取り組んできました。Noism1 メンバーの中から志望者を募り、発表の有無にかかわらず、課題に沿って創作された振付を芸術総監督および国際・地域両部門の監督が講評をすることで、彼らが何を目指し、そのためには何が必要なのかを対話しながら作品を作り上げていきます。

彼らはゲスト振付家のように自由な創作を任せられているわけではなく、芸術監督たちからの意見やアドバイスを受けながら創作を進めていきます。作品に直接手を入れることはありませんが、問い問われる状況を経て作品が鍛えられていきます。スタジオを自由に使って試行錯誤できる環境、同僚や先輩からの視点を受け取れる環境——劇場専属舞踊団だからこそ、若い振付家の才能が芽吹く土壌が整っているのです。他者との協働作業を通して、振付家は自分の芸術性に気付いていく。次世代を担う新しい振付家を育てることは、私たちの重要な使命の一つだと考えています。

本公演を「振付家育成プロジェクト」とするにあたり、振付家にはいくつか制約を設けました。舞踊の原点である「身体」に向き合うために、一度装飾的な要素を減らし、身体を持つ無限の可能性に挑んでもらいたいと考えています。照明などの総合的な演出力も振付家の重要な能力ですが、それらは多くの場合、専門家との共同作業になります。だからこそ、まず身体表現の専門家としての軸を確立してほしい。時代に名を残す振付家には、独自の身体感と固有の身体言語があります。そこにこそ振付家の哲学と舞踊作品のオリジナリティが宿るのです。

以上をふまえて、本公演では、Noism1 メンバーの中尾洸太、樋浦瞳、坪田光の三名に、それぞれにデュエット作品の創作を託しました。二人の舞踊家というシンプルな構成で、三人の振付家が何を表現するのか、未知への期待をこめて公演タイトルを「Three Duets in the Black Box」としました。スタジオ B という空間、振付家の脳内(Brain)、Noism2 メンバーの身体(Body)。それぞれの“ブラックボックス”を観客に開いていくような公演にできればと思っています。



2024年 中尾洸太演出振付『水槽の中の仮面』より
撮影：村井勇

そして、振付家と舞踊家の個々の成長だけではなく、Noism2 という集団の姿を表現する必要性も感じています。

三つの新作を並べるだけでも公演として十分に成立するとは思いますが、それだけでは何か足りないという思いがありました。Noism 2 メンバーの新潟での日々は、個々が目標に向かって独り自分と向き合うだけではなく、仲間と共に同じ場所で同じ時間を過ごした日々でもあるはず。先輩の姿に憧れ、影響を受けることもあるでしょう。集団の中で互いに感化され生み出されていく「集団性」というものがあるはず。たとえこの場所が、いずれ去ることが約束されている港のようなところだとしても、“今ここにいるNoism2”という集団の印象を公演として刻みたい。そんな思いから、公演全体の構成を私が担うことにしました。

Noism2 定期公演×振付家育成プロジェクト。
この新しい試みに、どうぞご期待ください。



2022年『火の鳥』より 撮影：村井勇



撮影：松崎典樹

地域活動部門芸術監督

山田勇気 Yuki YAMADA

舞踊家、振付家。北海道生まれ。北海道教育大学函館校にて清水フミヒトに出会いダンスをはじめ。2005年 Noism に入団。金森穂、稲尾芳文&K.H.稲尾、大植真太郎、中村恩恵、安藤洋子の作品を踊る。退団後、武道家日野晃に学ぶ。13年よりNoism2 リハーサル監督に就任。プロを目指す若手舞踊家を率い、作品を発表している。近年は新潟市内の小中学生や舞踊未経験者にむけたワークショップ等のアウトリーチ活動も積極的に行っている。20年9月よりNoism1 リハーサル監督に就任。

22年9月よりNoism Company Niigata 地域活動部門芸術監督就任。



2025年『とぎれとぎれに』より 撮影：村井勇



2025年『It walks by night』より 撮影：村井勇

「振付家演出ノート」

■ Noism1 樋浦瞳新作『A Mosaic of Moments』

ひとつの心臓 対をなす脈

増幅する血肉 組み合わせる骨

艶やかな鱗 からみ合う触角 逆立つタテガミ 四つの眼光

分裂 膨張 死滅 再生

絶えずめぐる 瞬間のかたまり

地球上の循環の中で、生き物の身体は物質としては一つの塊の状態で存在するが、私が考える身体とは、そのものが生きてきた瞬間・経験の集積である。身体で感じたことが、身体に成っていく。

すべての生き物は、それぞれ唯一の身体を生きるという運命をもっている。このことが私が舞踊へ向かう原動力であり、創作の原点である。

音楽：

Alva Noto & 坂本龍一

《By This River - Phantom》

衣裳：中嶋佑一

出演：四位初音、鈴木彩水



Noism1

樋浦瞳 Akira HIURA

1995年新潟県生まれ。五十嵐瑠美子・五十嵐生野にモダンダンスを師事。新潟明訓高校ダンス部で活動の後、筑波大学体育専門学群にて平山素子に師事。卒業後、天使館にて笠井叡に師事。これまでに池田扶美代、梅田宏明、黒田育世、山田うん、島地保武、柿崎麻莉子らの振付作品に出演。20年9月よりNoism1準メンバー、21年9月よりNoism1に所属。

撮影：松崎典樹

■ Noism1 坪田光新作『Island』

この作品における島とは孤立した場所であると同時に人の心や意識の中にある内面を表したものである。

孤独と葛藤のなかで外界は常に目の前にありながらも踏み越えられない距離がある。

島の境界が揺らぐ時、内面もまた動き始める。

冒険は出た方がいい、

でも必ず出るべきものではない。

強制されてもいけない。その時点で冒険とは呼べない。

冒険は必ずしも大きな旅だけではない。

他人に気持ちを伝えること、新しい事を学ぶこと、一步を踏み出すこと、決断すること、手放すこと、そして受け入れること。

未知の状態に身を置いた時、自分が浮かび上がってくる。

何を恐れ、何を選び、何を大切にしようとするのか。

悩んでいる時、それこそが新しい道を歩いている証拠。

冒険は出た方がいい。

音楽：

武満徹

《風の馬:Vocalise No.1》

Ezio Bosso

《Six breaths: II breath,Out of Breath》

Frédéric François Chopin

《Chopin:12Etudes,Op.10:No4 in C-Sharp Minor》

Johann Sebastian Bach

《Come,Sweet Death,BWV478》

出演：平尾玲、大崎健太郎



Noism1

坪田光 Hikaru TSUBOTA

1999年兵庫県生まれ 14歳よりくろみダンスファクトリーにてダンスを始め、コンテンポラリーモダンをケイコ・デイビスに師事。15年より安田敬子バレエスクールにて、安田敬子、山本成伸に師事。17年より米シカゴのJoffrey Academy of Danceに留学、Conservatoryを経てTraineeで学ぶ。19年9月よりNoism2、21年9月よりNoism1に所属。

撮影：松崎典樹

■ Noism1 中尾洸太新作『地平線のドーリア』

私は、祖母が日本舞踊を教えているのを横目に見ながらクラシックバレエをしていた。

いつもそんな自分の中に残るのはひとつの疑問だった。

なんで手足の短い東洋人の自分が、手足の長い西洋人が踊ることを前提としたクラシックバレエをしているのか、ということだ。

神楽、能、歌舞伎踊りから発展した日本人が踊ることを前提とした日本舞踊がこんなにも身近にあるというのに何故自分はクラシックバレエを選んだのだろう。

しかし、そんなことも次第に考えもしなくなっていた。

武満徹の音楽との出会いは、《秋庭歌一具》を用いた Noism0

による『残影の庭—Traces Garden』だった。武満の音楽と Noism の身体性が合成されたその作品は、私の幼い頃の疑問を思い出させ、自分の舞踊のルーツは何かを見つけるきっかけになった。

身体性、空間性を鋭く規定する武満の音楽で創作することは私自身とても大きな挑戦であり、舞踊家にとっても容易な事ではない。しかしその挑戦が未来の私達の糧になると信じて 2 人の舞踊家と武満徹の《地平線のドーリア》にしっかり向き合いたいと思う。

音楽：

武満徹

《地平線のドーリア》

衣裳：山田志麻

出演：鈴木彩水、平尾玲



撮影：松崎典樹

Noism1

中尾洸太 Kota NAKAO

2001年愛媛県生まれ。20年にドイツのAkademie des Tanzes Mannheimを卒業。在学中にTanzstiftung Birgit Keilよりスカラーシップを受ける。18年～20年Badisches Staatstheater KarlsruheにCorps de balletとして在籍。20年9月よりNoism1所属。

上演作品

- ・ Opening
- ・ Noism1 坪田光新作『Island』
- ・ Noism1 樋浦瞳新作『A Mosaic of Moments』
- ・ Noism1 中尾洸太新作『地平線のドーリア』

Noism Company Niigata (ノイズム・カンパニー・ニイガタ)

www.noism.jp

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0 (ノイズムゼロ)、プロフェッショナルカンパニー Noism1 (ノイズムワン)、研修生カンパニー Noism2 (ノイズムツー) の3つの集団があり、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動。2004年の設立以来、りゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに展開する活動(国際活動部門)とともに、市民のためのオープンクラス、学校へのアウトリーチをはじめとした地域に根差した活動(地域活動部門)を行っている。Noismの由来は「No-ism=無主義」。特定の主義を持たず、今この時代に新たな舞踊芸術を創造することを志している。

22nd (2025/2026) シーズンメンバー

芸術総監督 / Noism0=金森穰

国際活動部門芸術監督 / Noism0=井関佐和子

地域活動部門芸術監督 / Noism0=山田勇氣

Noism1 = 中尾洸太、庄島さくら、庄島すみれ、坪田光、樋浦瞳、糸川祐希、太田菜月、兼述育見、松永樹志、春木有紗

準メンバー = 江川瑞菜、与儀直希、高田季歩

Noism2 リハーサル監督 = 浅海侑加

Noism2 = 四位初音、沖田風子、鈴木彩水、平尾玲、大崎健太郎



撮影：松崎典樹

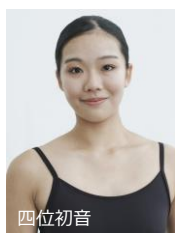
Noism2 リハーサル監督

浅海侑加 Yuka ASAUMI

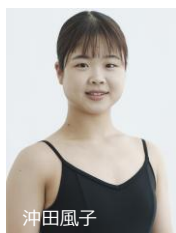
Noism2 リハーサル監督。舞踊家。1992年愛媛県生まれ。3歳よりクラシックバレエを始める。00年より山口美佳、山本康介に師事。10年イギリス Rambert School of Ballet and Contemporary Dance に留学。13年同校卒業と同時にケント大学 BA 取得。13年9月より Noism2、15年9月より Noism1 準メンバー、16年9月～19年8月 Noism1 で活動。20年9月より Noism2 リハーサル監督に就任。

Noism² Noism2 (ノイズムツー)

Noism の研修生カンパニー。プロフェッショナルカンパニーである Noism1 の附属集団として 2009 年に設立。プロをめざす若手の舞踊家が所属し、りゅーとぴあでの単独公演のほか、Noism1 との合同公演として劇的舞踊『ホフマン物語』、『カルメン』、『ラ・バヤデール—幻の国』、『中国の不思議な役人』、『春の祭典』、『Amomentof』等に出演。新潟市内で開催されるイベント等へのゲスト出演や学校出前公演など、新潟に根ざした活動を展開している。



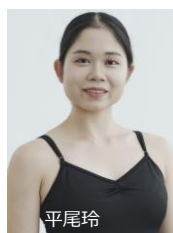
四位初音



沖田風子



鈴木彩水



平尾玲



大崎健太郎

撮影：遠藤龍



Noism2 定期公演 vol.17

2026年3月6日(金) 19:00、7日(土) 14:00 / 18:00、8日(日) 14:00 ※全4回

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈スタジオB〉

■ 6日(金)終演後に約30分間のアフタートークを開催いたします。

チケットをお持ちの方であれば、別日程でもトークのみの参加も可能です。ご希望の方はチケットの半券をお持ちください。

3月6日(金) 山田勇気×中尾洸太×坪田光×樋浦瞳

入場料：全席自由(入場整理番号付) 2,500円 U25 2,000円 高校生以下 1,000円(税込)

取扱い：りゅーとぴあ(オンライン・電話・窓口)

- ・オンライン・チケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日 11:00~]
- ・電話 025-224-5521 (11:00~19:00 / 休館日除く) [発売初日 11:00~]
- ・窓口(りゅーとぴあ2階) [発売初日(会員先行・一般発売ともに)取扱いなし]

発売日：会員・一般：2025年12月20日(土)

発売日初日はインターネットと電話予約に限定させていただきます。

残席があった場合、翌営業日11:00より窓口にて取り扱います。

- * U25は公演時25歳以下の方対象(未就学児を除く)。入場時に身分証をご提示願います。
- * 未就学児の入場はご遠慮いただいております。
- * 開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限いたします。
- * 託児サービス、車イス席等の詳細はNoismウェブサイトまたはりゅーとぴあHPをご覧ください。

問合せ：りゅーとぴあチケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521 (11:00-19:00 / 休館日除く)

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

[この事業は新潟市から補助金の交付を受けて実施しています]

○公演に関する最新情報は、りゅーとぴあホームページ(<https://www.ryutopia.or.jp>)

にてご確認ください。

